



黒岳 キレンゲショウマ群生地

今年は入門コースをご用意！

エコツアー「黒岳登山とキレンゲショウマ観察会」

募集中

諸塚村で一番高い山、黒岳。

宮崎県のレッドリスト26種を抱く希少植物の宝庫で、宮崎県野生動植物保護条例に基づく重要生息地8地域のうちの一つです。

そんな黒岳に、日本最大といわれる規模で群生する『キレンゲショウマ』。鹿による食害から守るための防護ネットに囲まれており、可憐なこの花を間近で見られるチャンスは、このツアーの参加者だけ。

標高1455メートル。山頂まで約1時間かけてゆっくり登りながら、現地ガイドによる希少植物の案内や、キレンゲショウマの鑑賞をお楽しみいただけます。

なだらかで歩きやすい道が多く、登山初心者にもおすすめできる黒岳登山ですが、今年はキレンゲショウマ鑑賞がメインとなる入門コースもご用意いたしました。登山は少しハードルが高いと感じられる方は、どうぞご利用ください。

自然が相手となるこのツアー。花の咲き具合や状態、お天気など、今年だけ・その日だけの特別な思い出としてお楽しみください。

申込期限 **8月8日(木)**



送迎付き入門コース(登山なし)

8月16日(金)

集合:9時 しいたけの館21
解散:16時 しいたけの館21

送迎付きコース(登山)

8月17日(土)

集合:8時30分 しいたけの館21
解散:15時30分 しいたけの館21

現地集合コース(登山)

8月18日(日)・19日(月)

集合:9時30分 黒岳登山口広場
解散:13時30分 黒岳湧水

詳細は **コチラ** [TEL] **0982-65-0178** <http://morotsuka-tourism.jp>



もろつかナビ

(発行元)

一般社団法人 諸塚村観光協会 まちむら応縁倶楽部

TEL:0982-65-0178 FAX:0982-65-0189

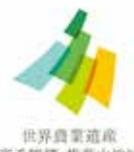
〒883-1301

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代 3068 しいたけの館 21 内

twitter



facebook



ご報告

エコツアー「諸塚でやま学校しよう!」第160回

1泊2食付き! ゆったり滞在民宿コース

驚きの7変化! 最古の調味料、梅を味わう2日間

2019年6月8日・9日 開催

8日、雨が続く中、きれいな晴れ間のツアー初日。梅ちぎり会場となる森の古民家へいだの里へ。粒は大きめで取り頃。例年より少なめかもしれませんが、ちょうど良い実り具合でした。手が届くところ、枝を寄せて取れるところをあらかじめ取り終えた後は、ブルーシートを敷いて竹の棒で叩き、実を落とす作業に。やま学校生からは「もっと右」などと声掛けがされ、協力体制抜群の中バケツ2つ分ほどの梅が収穫されました。

古民家を後にし、体験会場&宿泊先となる森の民宿「樹の里」さんへ。梅シロップの冷たいジュースやカリカリ梅でほっと一息。女将さんから、今日の作業とレシピのレクチャーがはじまります。質問も多数飛び交い、気合いが入っています。

まずは外で梅洗い。それから梅の実の選別に入ります。綺麗で青い梅と、割れた梅・熟した梅で選別。割れた梅は炊飯器で梅シロップに。あまりの簡単さに、「家でやりたい」と声が上がります。

綺麗で青い梅は、竹串を使ってへたを取り除きます。まずは、減塩梅漬けの下準備。一晩おいてあくを抜きます。残りは2つに分け、梅酢味噌とカリカリ梅の材料に。

作業を終え、美味しい食事を堪能されたころ、ホテル観賞へ。民家近くの川で沢山のホテルを見られるなんて凄いと感動していただきました。

2日目は、梅に包丁で切れ目をいれたり押しつぶしたり、なかなか難しい作業が多めでしたが、すぐコツを掴み、さくさくと進みます。担当を入れ替わりながら、ひと通り体験されていました。

10時には作業は終わり、振り返りとまとめ。食べ頃や赤ジソの漬け込み方など、最後の質問も。再会をお約束して解散いたしました。

またお会いできる日を、楽しみにしております!



2019年6月16日 開催

ご報告

エコツアー「諸塚でやま学校しよう!」第161回

古の技を知る! 日帰り体験コース

二十八柱を祀る神社へご案内&
神楽衣装の麻糸つむぎ体験

気持ちよく晴れた6月16日、日曜日。19名の参加者さんを、桂神楽奉納の舞台となる諸塚神社と、お隣の立岩大明神へご案内いたしました。

神聖な空気と巨木、緑の空間に触れた後は、お弁当で腹ごしらえして、いざ麻糸つむぎ! 麻を裂き、ほどけないように繋ぎ、よりを掛け、糸にしていく昔ながらの工程は、簡単そうに見えてなかなか難しく、集中して作業をしていらっしゃいました。

今回の麻糸は神楽衣装となり、来年2月に予定される大神楽に合わせて、諸塚神社へ奉納されます。そちらもお楽しみに!



編集後記

梅雨も後少しで明けると思われる時期ですが、又あの暑い夏がって思うと辛い面もあります。

気象変動が如実に表れだしたこの頃、皆様方もくれぐれもご自愛の上お過ごし下さいませ。そして愉しき日々を。 尾形

出会いと別れの多かったこの春、新メンバーと臨む事務局を今後ともよろしく願います。

そしてわが家にも新たなメンバーが! やま学校でたくましく育てていこうかなあ。ちょっと気の早い駆け出し父です。 田邊

観光協会に入社し、はや2ヶ月。廻りの皆さんに助けていただきながら、仕事をしています。早く仕事を覚えねば…。 佐藤

諸塚に来て3カ月。さっそくアキレス腱を切りましたが、私はとっても元気です。日々、村の皆様の優しさに包まれています。 岩切

昔日のリアルやま学校

コラム連載 第1回 『昭和30年代の夏休み』

尾形

私が小学校3年生になった頃、夏休みになると朝のラジオ体操に公民館に集まりました。当時は生徒数も多く、中学生のリーダーの下で眠い目をこすりながら体操を終えます。すると今日は魚突きに行くから、となり(屋号)に10時に集まれと号令がかかります。10時までは勉強の時間ですが、ソワソワして勉強も手に付きません。手作りの金突きの銚の先を研いでみたり、持って行く弁当を準備(麦飯かトウキビ飯に味噌。生の胡瓜、梅干し、沢庵)してわくわくしながら10時に成るのを待っていました。

当時、我が村の男子中学生は3人、男子小学生が15人位で、村の下を流れる川に下りて行きました。川に着くと、ヨモギの葉っぱを揉んで耳栓を作り、昼に焚く薪を集めて、弁当もカラスにやられないようにしてから川に入ります。準備体操の真似事みたいな事をしたり、しなかったりでした。

中学生は深い所に潜って突くものですから大物が取れます。小学校高学年が後に続き、低学年の私たちは精々、胸の深さの所で岩の陰の魚を探していました。それでもたまにはかなりの大物に出会い、金突きのゴムを離す時の緊張感は、今でも思い出すほどです。旨く当たれば良いのですが、かすっただけの時は逃げられ、仕留めた時はググッと金突きがしなり嬉しいものでした。水温は低く長く続けていると寒くなり、日向の暖まった岩に腹ばいになって体を温めました。

お昼には、リーダーが火を焚いてその周りでご飯です。当時、親は殆ど干渉する事もなく子供達で中学生の指揮の下に、云わずもがなの規律がありました。今、振り返っても不思議に思えるような気がします。

3時頃に引き上げるのですが、帰りは急な上り坂で(水に浸かった疲れもあり)下りの倍の時間をかけて帰ったものでした。獲物が多いときは得意顔で、少ないときは疲れた顔で帰り、暫くは眠りこけていました。

60有余年前の事です。「思えば遠くへ来たもんだ」



▲川遊びや魚取りは、未だにこどもたちの大好きな遊びのひとつ。

VIEW SPOT

分かりづらい写真ですみません!
国道503号を五ヶ瀬方面へ走り飯干地区へ入ると、いつのまにかぬっと出てくる風力発電所の超巨大風車。広く青い空と緑豊かな森、のどかな風景に突如現れる異質な人工物。ゾワゾワする違和感が、非日常的で圧倒されます。飯干の緑地広場を上がったところに、もっと絶景が広がるという噂も…
続報をお待ちください!

岩切



— 諸塚村の魅力は？

村には、自然と人間が共存する知恵や技術がたくさん！先祖からずっと自家採種してきた種から育てるといふ粟は、ゆうに100年以上に渡り世代交代を繰り返しています。アワやタカキビ・ムカシトウキビなど山の雑穀たちの美しさには心奪われます。

— 最近のハチハチでの活動は？

昨年村の委託業務で「アイスクリーム」の商品リデザインを手がけています。アイスクリームに合う素材を探して、20種類以上試作を行い一時期はアイスが主食になっていたことも…。試行錯誤の結果産まれた「つみたてあيس」が、5月末から販売されています。黒米・ゆず・きんかん・抹茶・ブルーベリー・ほうれん草の5種類、標高約600mの天空の集落で収穫された黒米フレーバーがイチオシです。特産品販売所「もろっこはうす」と宮崎市内の物産館「海幸山幸」での限定販売なので、みかけたらぜひ手に取って下さい。

インタビュアー：田邊

東京都出身 31歳

大学卒業後、東日本大震災の復興事業を行うNPO法人に勤務。2014年に知人の紹介で諸塚村と出会い、年数回のペースで通いはじめ、2017年5月から移住生活をスタート。一般社団法人ハチハチ代表として村からの委託を受けて人手不足解消プロジェクトなどに取り組む。

第20回

「九州玉入れ選手権大会 in もろつか」!!

ご報告

令和元年6月23日(日)、諸塚村民体育館にて、村内をはじめ九州各県から64チーム、約450名もの参加者が集まり、玉入れの九州大会が開催されました。一般・レディース・初心者の3部門で熱戦が繰り広げられます。

各チームが「せーのっ!」と声を掛け合いながら、一斉に籠を目掛けて玉を入れる姿を見て、団体競技は団結力やそれぞれが自分の役割を果たすことが大事なのかなあと改めて思いました。

私は運営スタッフの一員として会場に居たのですが、諸塚村のチームが出てくると拳に力が入り、いつの間にか業務を忘れて(※本当にすみませんでした)、一生懸命に応援していました。

結果、諸塚村のチームは、一般の部で「柳原商店」が4位、レディースの部で「TAKARA☆」が3位、初心者の部で「ながれ☆」3位に入賞しました。

参加者の皆さんの熱意、会場の雰囲気、スタッフの手際の良さ、更には中学生のボランティアの参加など、非常に感動的な大会でした。

本大会に関わられた皆さん、本当にお疲れ様でした。

佐藤



EVENT in morotsuka 2019

9月14日(土)
ぎゃあな祭 2019

10月13日(日)
第48回村民体育大会

11月16日(土)
第17回諸塚駄賃つけ唄全国大会

11月17日(日)
第70回諸塚村民文化祭

やま学校 年間計画

1泊2食付き!
ゆったり滞在コース

11月30日(土)~12月1日(日)
旬のゆず狩り! 柚子づくしの2日間
2020年1月18日(土)~19日(日)
現役猟師さんの森ガイド!
山とジビエの2日間

森の古民家泊!
田舎暮らし満喫コース

10月26日(土)~27日(日)
希少植物を抱く山、黒岳登山!
かまどご飯と秋祭り
2020年2月22日(土)~23日(日)
コマを打つ! 蕎麦を打つ! もろつかを食べる!

古の技を知る!
日帰り体験コース

9月28日(土) みつろうで作る優しいリップ
10月12日(土) 和紙はがき&大判紙漉き体験
12月14日(土) 手作り♪かずらリースづくり